

特定分野に特異な才能のある児童生徒に対する学校における指導・支援の 在り方等に関する有識者会議として実施するアンケートについて

【目的】

特定分野に特異な才能のある児童生徒の情報等を得て、その指導・支援の在り方等に関する具体的な検討に資する。

【対象】

特定分野に特異な才能のある児童生徒及びその関係者（保護者、学校の教師、支援団体の職員等）

【実施スケジュール】

- ・ 8月26日（木） アンケートフォームへのリンクを文部科学省の「特定分野に特異な才能のある児童生徒に対する学校における指導・支援の在り方等に関する有識者会議」ウェブページに掲載し、回答を受付開始
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/169/index.html
- ・ 9月17日（金） 回答締切
- ・ 10月頃 回答のとりまとめ

【アンケートの内容】

次ページのとおり

アンケートの内容

特定分野に特異な才能のある児童生徒に対する学校における指導・支援の在り方等に関する有識者会議（以下、「会議」という。）の参考とするため、特異な才能のある児童生徒の身近な事例について情報をお持ちの場合は、次の項目にお答えください。

（定義）

- 本アンケート調査における「特異な才能のある児童生徒」とは、同年齢の児童生徒の中で、知能や創造性、芸術、運動、特定の学問の能力（教科ごとの学力等）等において一定以上の能力を示す者をいいます。また、特異な才能と学習困難とを併せ有する児童生徒（いわゆる 2E の児童生徒）等も含みます。なお、小学校段階から高等学校段階までの者を対象とします。

（回答に当たっての留意事項）

- 本アンケート結果は、会議の事務局にて取りまとめ、会議資料等として公表することを予定していることをあらかじめご承知おき願います。そのため、個人が特定される情報は記入しないでください。
- 設問は問 1 から問 6 まであります。
- 事例は 3 つまで記入することができます（1 事例のみを記入する場合は、事例 2、3 は空欄のままにしてください）。

問 1 ご回答者の立場（特異な才能のある児童生徒との関係）を教えてください。
選択肢 本人、保護者、学校の教師、支援団体の職員、その他（ ）

【事例 1】

問 2 当該児童生徒の学校段階を教えてください。
選択肢 小学校段階、中学校段階、高等学校段階

問 3 当該児童生徒の特異な才能を具体的に教えてください。
※特異な才能がいつからどのような行動に表れたかが分かれば併せて記入してください。

問4 当該児童生徒が学校において経験した、特異な才能を有することに伴う困難（学習や対人関係など）があれば教えてください。

※困難に対する学校の気づきや支援があれば併せて記入してください。

問5 当該児童生徒が学校や学校外の諸団体等において受けた効果的な才能への支援があれば教えてください。

※下方に問6があります。

【事例2】

（事例1と同様の設問）

【事例3】

（事例1と同様の設問）

問6 望ましい働きかけや環境整備等、特異な才能のある児童生徒に対する支援として、学校、教育委員会、国に期待することを教えてください。

ご協力いただきありがとうございます。

以下は任意でご回答ください。なお、以下の情報については、公表されることはありません。

- ・ ご所属（任意）
- ・ ご氏名（任意）
- ・ 郵便番号（任意）
- ・ 住所（任意）
- ・ 電話番号（任意）
- ・ メールアドレス（任意）